担当　佐藤　昌寿

【第2次　6時間目／全15時間】

（１）本時のねらい

　　　水害の減少理由について，大河津分水のできる前後の地図を比較したり，大河津分水路工事や阿賀野川改修の治水工事を調べたりすることを通して，水害を防止するための取組により減少したことをとらえることができる。

（２）本時の展開

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 学習活動 | 教師の働き掛けと予想される児童の反応 | 資料と留意点 |
| １　水害の回数のグラフから，急激に減少していることに疑問をもち，学習課題を設定する。  （5分） | T　亀田郷は洪水が多くありましたね。このグラフで確認していきましょう。  C　やっぱり多いな。  C　あれ，急に減ってる。４分の１になっているよ。  C　どうして洪水が減ったんだろう。  ＜学習課題＞  なぜ亀田郷の洪水の数が減ったのだろう。 | ○パワーポイントを用いて授業を進める。  〇グラフ「信濃川，中之口川下流の水害の回数」提示。徐々に見せていく。  ○本時の学習課題を考えさせ，隣同士で発表させる。 |
| ２　地図や副読本を調べ，水害の減少理由を考える。  （10分） | T　洪水の減る前と減った後の信濃川の地図です。比べてみて気付いたことはありますか。  C　信濃川が変わっている。途中で，海の方に新しく川ができている。減る前にはないよ。  T　新しい信濃川ができていますね。では，この２枚の地図や「わたしたちの政令市新潟」を使って，新しく信濃川ができると，なぜ洪水が減ったのか，考えましょう。  C　新しく川ができて，分かれているところより先は，細くなっているから，水が少なくなったんだ。だから溢れることがなくなったんだ。  C　大河津分水路という名前なんだね。この川のおかげで，信濃川の水位が下がって，洪水が少なくなったんだね。 | ○「大河津分水路のできる前後の地図」を提示し。配付する。  ○河川開削でなぜ洪水が減るのかに焦点化し考えさせる。  ○副読本「わたしたちの政令市新潟」で調べさせる。 |
| ３　個々に考えた水害の減少理由について発表し，グループでまとめる。  （20分） | T　ではこれから，グループで話し合いをします。一人一人が考えた洪水が減った理由を発表し合い，グループの考えとしてまとめ，ホワイトボードに書きましょう。  C　信濃川に新しく大河津分水路を作ったおかげで，信濃川の水が大河津分水路に流れて，下流の亀田郷では信濃川の水位が下がり，洪水が減った。  C　でも，洪水は阿賀野川でもあったけど，どうなったんだ。  T　これは阿賀野川の洪水が多かった時とその後の地図です。どのように変わっていますか。  C　阿賀野川の河口が広くなっている。直したんだね。  T　では最後に映像で確認していきましょう。  C　いろいろな人々がお願いして造ったんだね。  C　堤防も直して洪水が起きないようにしたんだね。 | 〇グループの数だけホワイトボードを用意する。（Ｂ４かＡ３の用紙でも代用可）  〇考えを書き終えたら黒板に貼る。  ○阿賀野川改修前後の地図を提示する。  ○グラフに開削など位置付ける。  ○映像③「水害と大河津分水工事」を視聴させる。 |
| ４　学習についてまとめ，振り返りをする。  （10分） | T　今日の学習をまとめましょう。  ＜まとめ＞  大河津分水路を作ることで信濃川の水位が下がったり，阿賀野川を改修したりすることで，亀田郷の水害を防ぐことができたから。  T　洪水に悩まされていた亀田郷の人々は，大河津分水路や阿賀野川の改修が行われ，どのようなことを思っていたでしょうか。自分の考えと理由を書きましょう。 | ○板書からまとめに使うキーワードを見付けさせ，その言葉を使ってまとめをする。 |